

## 社会科学習指導案

### 1 小単元 自動車をつくる工業

#### 2 小単元について

本小単元は、大単元「わたしたちの生活と工業生産」の四つの小単元に分けたうちの一つであり、学習指導要領の、第5学年の内容に示された(3)「我が国の工業生産について、次のことを調査したり地図や地球儀、資料などを活用したりして調べ、それらは国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考えるようにする。」のア「様々な工業製品が国民生活を支えていること」イ「我が国の各種の工業生産や工業分布など」ウ「工業生産に従事している人々の工夫や努力、工業生産を支える貿易や運輸などの働き」を受けて、扱うものである。

児童は前単元「わたしたちの生活と食料生産」で我が国の農業や水産業は国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることや自然環境と深いかかわりをもって営まれていることを学んできた。また、食料生産では、消費者のニーズに合わせて、どのような工夫や努力が行われているのか考えてきた。

現在、私たちの身の回りには、様々な工業製品があふれている。自動車も生活を豊かにする上で重要な工業製品の一つであり、日本経済を支える重要な基幹産業としての地位を占めている。1台に約3万点もの部品が使われている自動車を効率よく、かつ、消費者の多様なニーズに応えながら生産するために、自動車工業に従事する人々は、生産工程の機械化、関連工場との連携、日々の研究開発など様々な工夫や努力を行っている。このような点から、日本の工業生産の事例として自動車工業を扱うのは、日本の工業生産の特色を理解させていく上でも効果的である。また、生産から運輸を一連の流れの中で学習することで、原料を製品にする工業生産と、その過程をつなぐ運輸の働きを関連させてとらえることができると考える。それらを学ぶことを通して、国民生活を支える工業生産について理解させたい。

本学級の児童の多くは、社会科の学習に意欲的に取り組んでいる。特に、見学等の活動を取り入れた学習に積極的である。そこで本小単元では、実際に地域の自動車販売店に行き、働く方々から直接話を聞いたり、展示している自動車を見学したりする活動を取り入れる。そうすることで、自動車工業についてより身近に感じながら学習を進められ、自動車工業で働く人々が自分の生活を支える様々な工夫や努力を行っていることを理解することができるであろう。

また、本小単元を通して、製造工程での工夫、輸送での工夫、研究・開発での工夫、働く人々の努力について、それがどのような消費者にとってのよさにつながるのかを学習を通して積み重ねていく。そうすることで、自動車が消費者のニーズに合わせて生産することで、消費者の生活を支えていることを理解させる。さらに、「いかす」の学習では、これまでの学習での積み重ねをもとに、自分の乗りたい自動車を根拠を示して考える活動を取り入れる。これらの活動を通して、消費者の目線になって、自分のニーズを考え、自動車工業で働く人々の工夫や努力が消費者にとってなくてはならないものだと説明できる児童を育てたい。

### 3 児童の実態（男子 15 名 女子 14 名 計 29 名）

#### 【社会科学習に対する関心・意欲】

1 社会科の学習は好きですか。			
好き 6人	どちらかといえば好き 16人	どちらかといえば嫌い 6人	嫌い 1人
(理由) ・内容が楽しい、おもしろい ・いろいろな発見がある ・見学が楽しい ・社会について知れる ・いろいろな人や仕事について知れる		(理由) ・苦手だから ・覚えることが多い ・内容に興味がない	
2 社会科の活動でどのような活動が好きですか。(複数回答可)			
・校外学習や見学 21名      ・調べ学習 4名      ・映像を見る学習 3名 ・学習のまとめづくり 3名      ・発表すること 2名 ・都道府県についての学習 2名      ・歴史学習 1名      ・新聞づくり 1名 ・地図の学習 1名      図を書くこと 1名			

#### 〈考察〉

本学級の児童は約8割の児童が社会科を好意的にとらえている。一方、社会科が嫌いな児童は、内容に興味をもてなかったり、社会科を暗記科目であるととらえたりしているようだ。また、社会科の学習で好きな活動については、多くの児童が校外学習や見学、インタビューや話を聞く活動という体験を通して学んでいく活動が好きだと感じている。実際に体験しながら学ぶ活動は、社会的事象を身近にとらえて学習していくために有効な手立てであると考え。本小単元では、地域の自動車販売店を実際に見学し、働いている人から直接思いや願いを聞くことで、学習意欲を高め、自動車工業を身近に感じながら学習させていきたい。

#### 【自動車についての意識・認識】

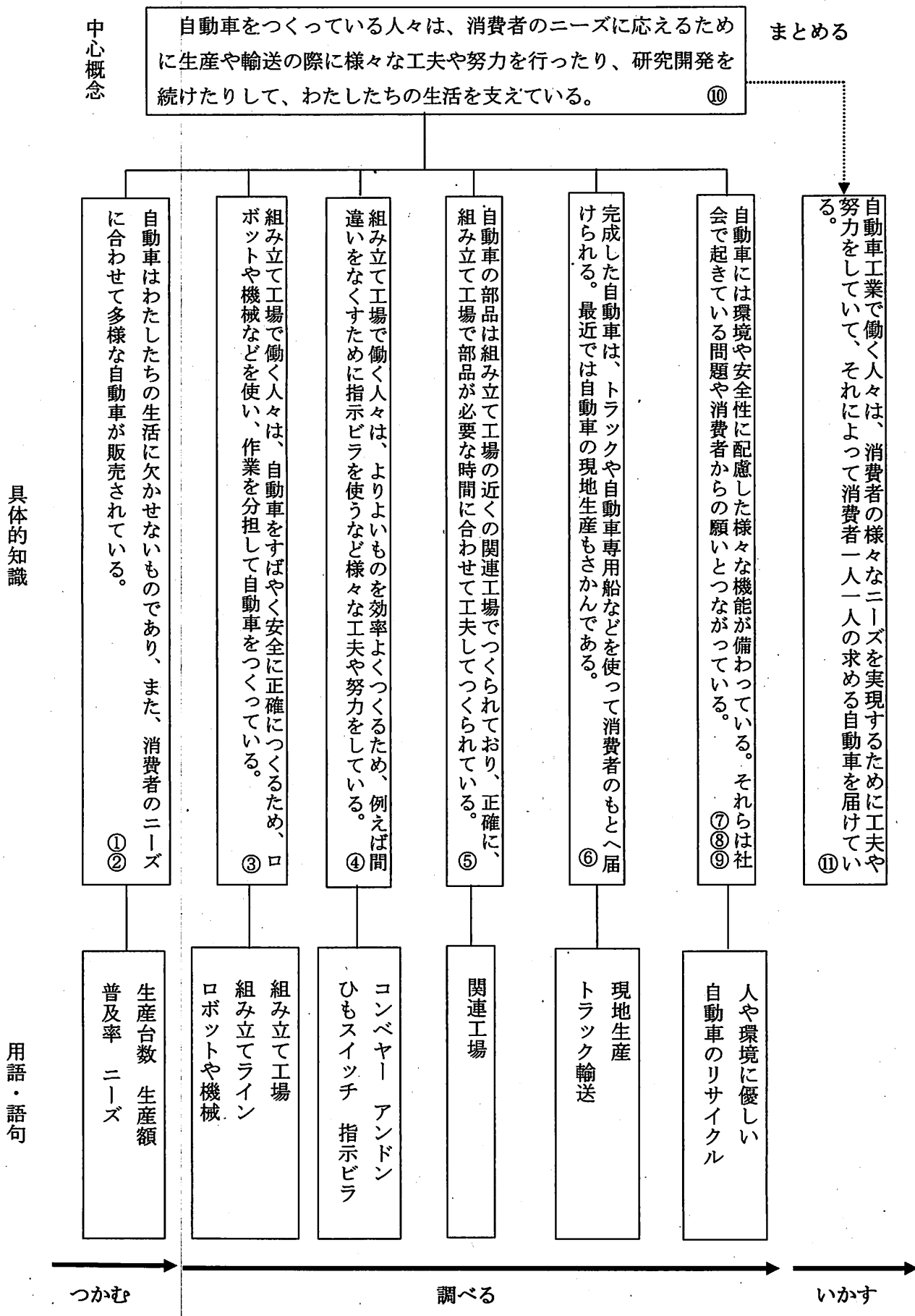
3 家の人がどうしてその自動車を買ったのか理由を知っていますか。	
知っている 9名	知らない 20名
(理由) ・遠くに行くときに便利      ・前の車が古くなったから、乗れなくなったから ・レンタカーだと高いから      ・テレビをつけたかったから      ・家族が増えたから ・キャンプで使うから	
4 自動車は生活するうえでなくてはならないものですか。	
はい 26名	いいえ 3名
(理由) ・遠くへ行くときに便利だから。 ・歩くと大変だから      ・楽だから ・重いものを運べるから ・電車やバスだけだといけなところがあるから	(理由) ・電車や自転車で代用できるから ・環境に悪いから

5 自動車をつくる人や売る人はどのような工夫や努力をしていますか。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・わからない、無回答 9人</li> </ul>	<p>(つくる人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乗りやすくする</li> <li>・燃費をあげる</li> <li>・事故を防ぐ技術を開発</li> <li>・たくさんの人や荷物を載せることができるように</li> <li>・遠くまで行けるように</li> </ul> <p>(売る人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車を展示する</li> <li>・試しに乗ることができるようにする</li> <li>・値段を安くする</li> </ul>
6 自動車はどのようにつくられていると思いますか。	
<p>(製造の全体像が見えている児童) 5名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部品工場部品を作り、組み立て工場組み立てる</li> <li>・部品を個別に生産し、持ち寄って組み立てる</li> <li>・部品→組み立て (エンジンを入れる、タイヤを取り付ける)</li> </ul>	<p>(製造の一部を見ている児童) 11名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すべて機械で作る</li> <li>・鉄を使う</li> <li>・型をとって組み立てていく</li> <li>・役割分担をして何を作るか決めている</li> <li>・溶接、組み立て、プレス、塗装</li> </ul> <p>(わからない・無回答) 13名</p>
7 自動車によって起こる問題について何か知っていますか。	
<p>(主に人が原因のもの)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あおり運転</li> <li>・信号無視</li> <li>・逆走</li> <li>・アクセルの踏み間違い</li> <li>・飲酒運転</li> <li>・高齢者ドライバーの事故</li> </ul> <p>(主に車が原因のもの)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タイヤのパンク</li> <li>・車の故障による交通事故</li> </ul> <p>(環境問題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・排気ガスによる地球温暖化や大気汚染</li> </ul> <p>(わからない・無回答) 1名</p>	

〈考察〉

本学級のほとんどの児童が自動車は生活する上でなくてはならないものであると感じているようだ。また、自動車の引き起こす問題についても、世間で話題となった問題を中心に様々な回答があり、危険性や問題などに関心があるようである。しかし、保護者が自動車を買った理由を知っている児童は少なく、知っている児童も保護者がどうしてその車種を選んだのか詳しく把握している児童はいない。児童にとって自動車は利用する機会も多く、その利便性や問題点に気付いているが、購入するのは保護者であるため、消費者が自動車にどのようなニーズを求めると深く考えた経験はないようである。自動車がどのように生産されているか問うた質問では「製造の一部が見えている児童」や「わからない、無回答」が多かった。生産する過程は児童の目に触れる機会がほとんどないためであると考えられる。本小单元では、製造の工程だけでなく、自動車工業で働く人々の工夫や努力に気付かせる手立てが重要である。以上のことから、自動車工業を身近に感じて、意欲的に学習していくために、働く人々の工夫や努力がわかる資料や映像資料、地域の自動車販売店への見学など取り入れて、自動車工業を身近にとらえるための手立てを工夫して学習していく必要があると考える。

#### 4 小単元 知識の構造図



## 5 小単元の目標

- 自動車工業を通して、我が国の工業生産について意欲的に調べ、自動車産業に従事している人々の工夫や努力、工業生産を支える貿易や運輸などの働きを理解するとともに、国民生活を支える我が国の工業生産の発展について考えることができる。
- 我が国の工業生産の様子から学習問題を見だし、自動車をつくる工業を具体例として調査したり、地図、統計などの資料を活用したりして調べたことをまとめるとともに、工業生産と国民生活とを関連付けて考えたことを適切に表現することができる。

## 6 小単元の評価規準

評価の観点	評価規準
社会的事象への 関心・意欲・態度	工業生産の様子に関心を持ち、自動車をつくる工業の製造の過程や製品の販売、輸送に見られる工夫などについて意欲的に調べようとしている。
社会的な 思考・判断・表現	工業生産に従事している人々が、消費者や社会のニーズに合った新しい技術の開発、資源の有効な利用や確保、環境への配慮などの工夫や努力をして国民生活を支える役割を果たしていること、我が国の工業生産の発展にはこれらの工夫や努力が欠かせないことについて思考・判断し、適切に表現している。
観察・資料の活用の 技能	我が国の工業生産の様子について調査したり、地図、統計などの資料を活用したりして必要な情報を集め、工業生産に従事している人々が、製造の過程や製品の輸送などにおいて工夫や努力していることを読み取ったりまとめたりしている。
社会的事象 についての知識・理解	工業生産に従事している人々が、消費者や社会の多様なニーズにこたえ、環境に配慮しながら、優れた製品を生産するために様々な工夫や努力をしていることを理解している。

## 7 小単元の指導計画（11時間扱い）

過程	時間	○主な学習活動と内容
つ か む	1	<p>○10種類の自動車から乗りたいと考えた1台選び、色を塗ったものを友達と比べることで、消費者は自動車に対して様々なニーズをもっていることに気付く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車種と色を選んだだけなのに、まったく同じ自動車がないね。</li> <li>・大きさやデザイン、家族構成をもとに選んだりしているね。</li> </ul> <p>○資料から自動車のパーツの数と生産時間を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3万個のパーツをどうやって17～18時間で組み立てているのだろう。</li> <li>・工場に工夫がありそうだ。</li> <li>・そんなに早く作れるなら、注文してから届くまでにどれぐらいかかるのかな。</li> </ul>

		<p>○品質調査ランキングから日本車の順位を読み取り、小単元の学習問題を立てる。</p> <p><b>学習問題</b> 品質の高い自動車は消費者のもとにとどくまでに、自動車工業で働く人々はどのような工夫や努力をしているだろうか。</p>
	2	<p>○学習問題に対して、予想を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人も作業しているけど、素早く大量に作るために機械も使っているかもしれない。</li> <li>・品質の高い自動車を届けるために出荷する前に検査しているんじゃないかな。</li> <li>・愛知県に取りに行くのは大変だから販売店まで運ばれるんじゃないかな。</li> <li>・様々なニーズがあったから、きっといろいろな車を開発しているよね。</li> </ul> <p>○学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産されている工場の工夫や努力について調べる。</li> <li>・生産された自動車が届くまでの工夫や努力について調べる。</li> <li>・自動車会社が開発している自動車や消費者のニーズを知るために、販売店に見学に行く。</li> <li>・改めて、自分の自動車に対するニーズを考えて、こんな自動車を作ってほしいと販売店にアピールする。</li> </ul>
調 べ る	3	<p>○組み立て工場の様子や工夫を資料や動画で調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車は1つの組み立て工場内で流れ作業によって生産されることによって、速く大量に生産することができて、すぐに消費者に届けられる。</li> <li>・人が行う作業と機械が行う作業を分けて効率化し、品質の高い自動車を速く大量に消費者に届けている。</li> <li>・1,500回も検査し、故障していない自動車を届けている。</li> <li>・指示ピラによって様々なパーツや色を選ぶことができ、消費者の選択肢が増える。</li> </ul>
	4	<p>○「タローラ作り」を通して、流れ作業のよさを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・流れ作業で分担して組み立てると一人で作業するよりも速く大量に生産できる。</li> </ul> <p>○組み立てラインの様子を資料や動画で確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひもスイッチやアンドンによって、間違いを減らし、品質の高い自動車が消費者に届く。</li> <li>・ワゴン台車、カメレオン、らくらくシートなど作業しやすい工夫があるから、速く大量に消費者に届けることができる。</li> <li>・かんぱんがあることで細かい注文にも対応できることで、消費者が様々なパーツを選ぶことができる。</li> </ul>
	5	<p>○組み立て工場周辺の地図を見て、関連工場の配置を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な分だけ注文することで部品を余らせないので、値段を抑えることができる。</li> <li>・関連工場が近くにあるとガソリンを節約できてその分安くなる。また、すぐに作業できて早く届けることができる。</li> </ul>
	6	<p>○自動車がどのように消費者に届くのか調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トラックや船で輸送しているから、工場まで消費者が取りに行かなくてもよい。</li> <li>・外国で作ることで、その国の消費者にも安く速く届けられる。</li> </ul>

	7	<p>○自動車メーカーの販売店に見学に行く計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「消費者のニーズは何か」「働いている人の思いや願い」「今後の研究開発について」の3つの視点で調べることを考える。</li> </ul>
	8	<p>○計画をもとに見学に行く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者のニーズに合わせて、様々な車種やサービス、技術を開発しているから常に消費者が求める自動車が開発される。</li> <li>・自動運転技術によって事故を減らし、安全に乗ることができる。</li> <li>・燃費が良く自動車は環境にも良いし、ガソリン代もかからない。</li> <li>・バリアフリー対応自動車なら、高齢者でも気持ちよく乗ることができる。</li> </ul>
	9	<p>○見学に行ってわかったことや考えたことを整理して、研究開発での工夫や努力をまとめる。</p>
ま と め る	10	<p>○前時までの学習を振り返り、それぞれの工程での工夫や努力が私たちの生活をどのように支えているのか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な種類の自動車を生産し、消費者のニーズに応えている。</li> <li>・速く大量に生産して、消費者のもとにすぐに届けている。</li> <li>・品質の高い自動車をできるだけ安く生産して、消費者を満足させている。</li> <li>・世界中の工場で現地生産し、消費者のニーズを反映させている。</li> <li>・トラックや船を使って自動車を輸送し、消費者のもとにすぐに届けている。</li> <li>・安全に乗ることができる自動車を開発して、事故から消費者を守っている。</li> <li>・環境のことを考えた自動車を生産して、未来の消費者のために努力している。</li> </ul> <p>○学習問題をもとに、小単元のまとめを行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>自動車工業で働く人々は、消費者のニーズに応えるために生産や輸送の際に様々な工夫や努力を行ったり、研究開発を続け安全や環境のことを考えた技術を開発したりして、品質の高い自動車を生産し、わたしたちの生活を支えている。</p> </div>
い か す	11 (本時)	<p>○自分の自動車に対するニーズを改めて考え、理想の自動車につけたい要素とその理由を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カッコいいデザインの自動車に乗りたい。</li> <li>・ガソリン代や環境のことを考えたらハイブリッドカーがいいな。</li> <li>・事故に合いたくないから自動ブレーキシステムはつけたいな。</li> <li>・安くなければ簡単に変えないから値段は重要。</li> <li>・自分が欲しい自動車は早く届いてほしいね。</li> </ul> <p>○小単元の初めに考えた自分の自動車へのニーズと比較して、どのようにニーズが変わったか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最初は「カッコいいデザイン」の自動車が欲しいとだけ考えていたけど、学習を通して、それだけではなく、もっといろいろなよさが日本の自動車にはあって、環境にやさしいエンジンや自動ブレーキのシステムもつけたいと考えた。また、性能が良くても安く販売する工夫もあったから値段や速く届くかどうかも重要だと考えるようになった。</li> </ul>

## 8 市教研社会科研究主題解明のための方策

### 市教研社会科研究主題

変貌する未来を切り拓く社会科学習 ～手応えの発見につながる『深い学び』の探求～

#### <本年度主題解明のための方策>

研究内容1 「深い学び」に導く単元づくり

研究内容2 「深い学び」に導く授業づくり

本小単元では、研究主題の中から次の点に留意して指導及び評価に取り組んでいきたい。

研究内容1 「深い学び」に導く単元づくり

#### ○ 単元構成の工夫

本小単元では、自動車工業で働く人々の工夫や努力を理解し、それが私たちの生活を支えていることに気付かせたい。そのためには、自動車工業を身近にとらえ、消費者とのつながりを意識させる二つの手立てが重要であると考え。そこで、自動車に携わっている方々を見学する活動を取り入れて、自動車工業を身近にあるものだととらえさせる。本学級の児童のほとんどが、普段自動車を利用しているが、実際に購入しているのは保護者であり、自動車を移動や運搬する際に便利なものであるという視点以外で捉えている児童は少ない。そこで、地域の自動車販売店に行き、働く方々から直接話を聞いたり、展示している自動車を見学したりする活動を取り入れる。この活動を通して、今、社会に求められている自動車は何か、将来、求められる自動車は何かということを具体的に考えさせ、自動車が単に移動手段としての便利なものというだけでなく、消費者の多様なニーズに合わせて生産されていることや安全面、環境面でも消費者を支えているということを実感させる。

研究内容2 「深い学び」に導く授業づくり

#### ○ 学習の積み重ねをもとに、自動車工業と消費者のニーズのつながりをとらえられるようにする工夫

本時の学習では、これまでに学習してきた自動車工業で働く人々の工夫や努力をもとに、自分が乗りたい自動車がどのようなものか考える活動を通して、未来の消費者として、自分のニーズに気付かせる活動を行う。児童はこれまでの学習で、自動車工業で働く人々の工夫や努力だけでなく、それが、どのような消費者にとってのよさにつながるのかを具体的に考えてきた。本時では、それを生産、輸送、研究・開発のそれぞれの工程ごとに分け、掲示する。掲示する際には、それぞれの工程で出てきた消費者にとってのよさを付箋紙に貼って一緒に掲示し、自動車工業で働く人々の工夫や努力によって「かなえられるニーズ」として扱う。学習の具体的な活動としては、「かなえられるニーズ」を順位付けながら選んでいく活動を行う。実際にこれまでの学習で積み重ねてきた内容から、「かなえられるニーズ」を選ぶ活動を通して、児童は自分のニーズが、自動車工業で働く人々の工夫や努力によって実現されていることを改めて確認できるであろう。学習の終末に、導入で考えた自分のニーズと比較することで、これまでの学習を通して、自分のニーズがより具体的になり、消費者の目線をもって自動車工業で働く人々の工夫や努力をとらえることができるようになったと実感するはずである。この学習を通して、自動車工業で働く人々の工夫や努力が、私たちのもつニーズと結びついていることに気付き、自動車工業で働く人々が自分の生活のどのような面を支えているのか、具体的に説明できる児童を育てたい。



## 9 本時の指導 (11/11)

### (1) 本時の目標

○これまでの学習を振り返って、自分の欲しい自動車について根拠を明確にして考えることができる。  
(ワークシート) (思考・判断・表現)

### (2) 本時の展開

時配	学習活動と内容	○教師の指導と支援 ◆評価	資料
3	<p>1 小単元の導入で考えた自分のニーズとこれまでの学習を振り返る。 (初めに自動車を選んだ理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デザインがかっこいいから</li> <li>・家族や親せきがその自動車に乗っているから</li> <li>・旅行でよく山に行くので山道を走りやすい車</li> <li>・家族が5人だから5人乗りの車</li> </ul>	<p>○ 小単元の導入で考えた自分のニーズをワークシートに添付しておくことで、考え比較できるようにしておく。</p> <p>○ 学習を振り返ることのできる掲示物を製造、輸送、研究・開発の三つに分けて掲示しておくことで、これまでの学習を想起しやすくする。</p> <p>○ 掲示物は、その工夫や努力が消費者のどのようなニーズを叶えることにつながっているのかにふれるような内容にすることで、理想の自動車づくりにつなげられるようにする。</p> <p>○ 小単元の初めに考えた自分のニーズと今の自分のニーズが変わっているか問うことで、本時の学習への動機付けを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習を振り返る掲示物</li> <li>・ワークシート</li> </ul>
<p>これまで調べてきたことをもとに、自分が乗りたいと思う自動車について考えよう。</p>			
20	<p>2 「かなえられるニーズ」の書かれた付箋紙の中から最大で5つまで選び取り、その理由を書く。</p> <p>例</p> <p>1位 かっこいいデザインを選べる理由…自分が乗る車だから、形や色にこだわって選びたい。</p> <p>2位 ガソリン代が節約できる理由…ガソリン代を節約できるし、環境にも優しいから</p>	<p>○ 「製造」、「輸送」、「研究・開発」の3つの場に合わせて自動車工業の工夫や努力によって「かなえられるニーズ」の書かれた付箋紙を貼ることで、学習した内容に沿って考えられるようにする。</p> <p>○ これまでの学習で見つけてきた「かなえられるニーズ」を付箋紙に書き、掲示物に貼っておくことで、児童が素早く自由に、選び取りやすいようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・付箋紙</li> </ul>

	<p>3位 事故に合うことがない機能 理由…運転していて一番怖いのは事故だから、それを防いでくれる機能は必要。</p> <p>4位 値段が安い 理由…どんなに良い車も値段が高いと買えないから</p> <p>5位 早く届く 理由…自分が欲しくて買ったので、できるだけ早く届いてほしい。</p>	<p>○ 順位付けを通して、自分が重視するものは何か明確にできるように、1位から順に付箋紙を選んでいくことを確認する。</p> <p>○ 選んだ付箋紙とその根拠となる理由を書くことが難しい児童には、絵を描いてから説明してもよいことを助言する。</p> <p>◆ これまでの学習を振り返って、自分の欲しい自動車について根拠を明確にして考えている。(思・判・表)</p>	
7	<p>3 自分のニーズをもとに理想の自動車の形を絵や文で表す。</p>	<p>○ 教師が用意した具体例を提示することで、絵や文で表すときは、自分のニーズを必ず反映させることを確認する。</p>	
10	<p>4 全体で乗りたい自動車を発表する。 (聞くときの視点) ・自分の乗りたいと考えた自動車と似ているところはどこか ・自分の乗りたいと考えた自動車と違うところはどこか</p>	<p>○ 聞くときの視点を設け、自分の自動車と比べて、友達の自動車がよいところや自分と違うところはどのようなところか考えながら聞くように助言する。</p>	
5	<p>5 本時の学習を振り返る。 ・初めは、自分がかっこいいと思う自動車を選んだだけだったけど、学習を通して、燃費がよい自動車や安全性を高める機能も消費者にとってすごく大切なものだと感じたから必要だと考えた。自動車工業は自分のニーズをかなえてくれる様々な工夫や努力をしていることが分かった。</p>	<p>○ 小単元の導入で考えたニーズと現在の自分のニーズを比較することでどのようなことを考えたかを書くように助言する。</p>	

## 10 参考文献

トヨタ自動車株式会社 TOYOTA 自動車 Website <https://toyota.jp/index.html>

一般社団法人日本自動車工業会 2019年 自動車ガイドブック 凸版印刷株式会社 334P

## ○本時に付箋紙に書いて用意しておく「かなえられるニーズ」一覧

### 製造工程の工夫や努力

#### 組み立て工場

- ・大きくてたくさんの人や荷物をのせることのできる自動車
- ・小さくて運転がしやすい自動車
- ・カッコいいデザインの自動車
- ・かわいいデザインの自動車
- ・高れい者や子ども、体が不自由な人も乗りおりしやすい自動車
- ・正確に組み立てたり、検査したりすることで安全性を高めた自動車
- ・自動車の部品や色を自由に選ぶことができる
- ・故障が少なく長く安心して乗れる自動車
- ・消費者のもとに早く届く
- ・さびたりせず、見た目がずっと美しい自動車
- ・きずや汚れがなく、つやのある見た目がきれいな自動車

#### 組み立てライン

- ・消費者のもとに早く届く
- ・値だんをできるだけ安くしている
- ・生産・運輸の仕方や部品を工夫することで環境にやさしい自動車
- ・自動車の部品や色を自由に選ぶことができる
- ・故障が少なく長く安心して乗れる自動車

#### 関連工場

- ・消費者のもとに早く届く
- ・自動車の部品や色を自由に選ぶことができる
- ・故障が少なく長く安心してのれる自動車
- ・生産・運輸の仕方や部品を工夫することで環境にやさしい自動車
- ・値だんをできるだけ安くしている

### 輸送の工程の工夫や努力

#### 輸送

- ・消費者のもとに早く届く
- ・値だんをできるだけ安くしている
- ・生産・運輸の仕方や部品を工夫することで環境にやさしい自動車
- ・きずや汚れがなく、つやのある見た目がきれいな自動車
- ・外国に住んでいても、品質の高い日本車が手に入る

#### 現地生産

- ・住んでいる国や地域の気候に合わせた自動車
- ・外国に住んでいても、品質の高い日本車が手に入る
- ・値だんをできるだけ安くしている

### 研究・開発の工夫や努力

#### 人のことを考えた研究・開発の工夫や努力

- ・自動運転技術や自動ブレーキ機能で事故を防ぐ
- ・自動運転技術で運転が楽になる
- ・高れい者や子ども、体が不自由な人も乗りおりしやすい自動車

- ・買った後もていねいに点検してくれる
- ・電気や水素を使うことで、ガソリン代があまりかからない自動車
- ・事故が起こってしまったときに自分や相手のけがを防ぐ
- ・PHVなど停電したときに、発電した電気を使用でき、防災グッズにもなる自動車

#### **環境のことを考えた研究・開発の工夫や努力**

- ・水素自動車、ハイブリッドカー、PHV、電気自動車などガソリンをあまり使わない環境にやさしい自動車
- ・生産・運輸の仕方や部品を工夫することで環境にやさしい自動車